

頻りにする学内問題

「学内問題」の頻りにする。これは、京大の現状を象徴する言葉である。学生、教職員、行政の間に、深刻な溝が形成されている。この溝を埋めるためには、互いの立場を理解し、対話の場を設ける必要がある。しかし、現状では、対話よりも対立の構図が目立つ。これは、大学の本来の使命である「学問の探究」と「学生の育成」を阻害する危険な兆候である。

大阪学大

大阪大学は、学内問題の激化を背景に、行政改革を進めている。特に、学費の値上げと、教職員待遇の見直しに注力している。しかし、これらは学生からの強い反響を招いている。学生側からは、学費の値上げが生活に与える影響を懸念している。一方、教職員側からは、待遇の改善が求められる。この両者の対立は、大学の運営に深刻な影響を及ぼしている。

欠落していた全大学の協力

明確な文部省の分断政策が

文部省の分断政策が、全大学の協力を欠落させている。各大学は、互いに連携を欠き、孤立した状態で運営されている。これは、日本の高等教育の質を低下させている。文部省は、各大学に対して、明確な指導方針を示さず、むしろ分断的な政策を打ち出している。これにより、大学間の協力関係が崩壊し、学生や教職員の利益が損なわれている。全大学の協力体制を再構築し、日本の高等教育の発展に貢献する必要がある。

「政治過程論」総括試験

「政治過程論」の総括試験が実施された。試験内容は、政治学に関する基礎知識と、最新の政治動向に関する理解を問うものであった。学生は、試験に真剣に取り組んでおり、高い合格率を挙げた。これは、政治学専攻の学生が、学問に専念していることを示している。

要求されている組織性

過去を総括し我々闘い続けるか

組織性、闘争性、これらが要求されている。過去の経験を総括し、我々が闘い続けるべきである。学生は、社会の不正を正すために、組織的に行動し、闘争を続ける必要がある。これは、学生の本質である。過去の失敗を反省し、より効果的な行動を遂行する必要がある。

七十周年記念事業

京大は創立七十周年を記念し、様々な事業を実施している。学内では、記念式典や講演会が行われ、学外では、社会貢献活動が展開されている。これらは、京大の歴史と伝統を継承し、未来を展望するための重要な取り組みである。

学内問題

新制大学の再編成

新制大学の再編成が議論されている。これは、日本の高等教育の改革の一環として行われる。再編成により、大学の規模や組織構造が変化する。これは、学生や教職員にとって大きな影響を及ぼす可能性がある。再編成の進捗状況や、関係者の意見などを注視する必要がある。



新法政 部長 長浜政寿 教授

滝川事件を契機に政治学専攻

滝川事件を契機に、政治学専攻の活動が活発化している。学生は、政治学専攻を通じて、社会問題について議論し、行動している。これは、政治学専攻の重要性を再認識させる契機となった。政治学専攻は、社会の発展に貢献する重要な学問である。

反対側にも問題

反対側にも問題がある。これは、学内問題の両面を捉える必要がある。一方では、学生側の主張が理解されている一方で、教職員側の苦衷も考慮されるべきである。互いの立場を理解し、対話の場を設ける必要がある。

SAKAI IRON WORKS
 水栓 洗面所用水栓 銅管門枕 架
 水道用 溶接 銅管 構造 建築
 銅管 橋脚 鋼管 橋脚 鋼管 橋脚
酒井鉄工所
 取締役社長 酒井芳申
 本社・工場 大阪府西成区岸野町6-21
 〒155 (04) 1331
 東京事務所 東京都千代田区丸の内3-10(富士ビル)
 工場 堺市

あなたと京大を結ぶ一つのきずな

■新入生の皆さまは独自の思想形成と厳しい状況へのアプローチのために
 ■卒業生の皆さまは母校の動向を知り、新しい社会と大学の架橋のために
 ■受験生の皆さまは最新の受験ニュース、受験ガイド等による入試案内のために
 ■御父兄の皆さまは御子息の学ばれる京大の雰囲気やヴィズィットに知るために

定期購読のおすすめ

大正十四年の創刊以来四十余年「京大新聞」は京大とともに歩んで来た。この間、幾多の困難の中、あつて「京大新聞」は、一貫して真実の追求と公正の維持、反戦目的の灯を掲げて来た。昭和十四年には全面的に改題し、増進して来た。現在、日本の文化、政治、思想の状況は、戦前の頃と比べて、激変を遂げて来た。新しい遊戯、新しい根拠の発想の要求が求められている。今日の活版屋と、私たちの手の中、読者の手の中に、ニエーションを通じて、読者の問題を解決するに努めて行きます。

購読料金
 一年分 五五〇円
 二年分 一〇〇〇円
 三年分 一四〇〇円
 四年分 一七五〇円
 (郵送の場合は別紙封筒に)

京都市左京区 京大構内
 京都大学新聞社
 直通 (0) 二〇五五 内線 (0) 八二二
 電話 (0) 三九九九
 振替 京都三九九九

京大唯一のマスメディア
京都大学新聞
 創刊大正14年
 発行部数2万

武谷三男と自然弁証法

藤井光城

認識は模写の堂々めぐり 基礎づける実践

武谷自然弁証法は独断的

『武谷三男の自然弁証法』

武谷三男著 藤井光城編

武谷三男著「自然弁証法」は、1955年に出版された『自然弁証法』と、1960年に出版された『自然弁証法』の二冊をまとめたものである。この二冊は、武谷三男の自然弁証法の基本を述べ、その発展を論じている。本書は、藤井光城氏が編纂したもので、武谷三男の思想を正確に伝えることに努めている。



武谷三男氏

方向性と矛盾の混同 数式の絶対化

本書は、武谷三男の自然弁証法を論じている。その中で、方向性と矛盾の混同、数式の絶対化が指摘されている。武谷三男は、自然弁証法を「認識の模写」として捉えている。これは、認識が対象を正確に模写するのではなく、対象の内部矛盾を模写するということである。また、数式を絶対化して、現実を数式で表現しようとする傾向も批判されている。

認識の弁証法が必要 数式を媒介させる意味

認識の弁証法は、数式を媒介させる必要がある。数式は、認識の過程を表現するための重要な手段である。しかし、数式を単に媒介として用いるのではなく、数式を通じて認識の深層構造を明らかにする必要がある。武谷三男の自然弁証法は、この点に重点を置いている。

政治過程論試論



戦後民主主義の定着

戦後民主主義の定着は、政治過程の重要な課題である。戦後の日本は、民主主義の理念を根付かせようとした。しかし、その過程には多くの困難があった。本書は、戦後民主主義の定着の過程を論じている。

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

高見沢洋

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

大衆運動リアリズムの課題

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

幻想破壊闘争は幻想無視でない

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

大衆運動的政治

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

リアリズムの基

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

上・9月23日回学生大会

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

下・9月8日行動

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の現状

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の展望

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の歴史

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の理論

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の実践

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の未来

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の批判

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

学生運動の発展

加藤正論

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著



加藤正論 著

「プロレタリア」の立場からする世界理解の誤り

デボリン、ルカッチ、三木清への指摘
ミレーチン、福本和夫

USの「自由主義」は、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「帝国主義」である。これは、デボリン、ルカッチ、三木清、ミレーチン、福本和夫の著述に於いて、明らかにされている。彼等は、プロレタリアの立場から、USの「自由主義」を、本質的に「帝国主義」として、批判している。しかし、彼等の批判は、本質的に「帝国主義」であるUSの「自由主義」を、本質的に「自由主義」として、批判している。これは、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「帝国主義」であるUSの「自由主義」を、本質的に「自由主義」として、批判している。これは、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「帝国主義」であるUSの「自由主義」を、本質的に「自由主義」として、批判している。

国家的イデオロギーに
原理的に対決

「排外的主観を排除せよ」

排外的主観を排除せよ。これは、国家的イデオロギーに原理的に対決するための第一歩である。国家的イデオロギーは、本質的に「排外的主観」である。これは、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「排外的主観」である。これは、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「排外的主観」である。これは、プロレタリアの立場からすれば、本質的に「排外的主観」である。

現代の対話
現代病 対話不能論

末川博、桑原 武夫、梅原猛 編 権澤社

現代病 対話不能論。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。

「素樸を認識主体
認識対象にすればいいのか」

素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。

虚構の著作
見えない主観性

見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。

映画評
「マドモアゼル」
倒錯者との暗闘

トニー・リチャードソン監督
「マドモアゼル」

倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。

現代の対話
現代病 対話不能論

末川博、桑原 武夫、梅原猛 編 権澤社

現代病 対話不能論。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。

「素樸を認識主体
認識対象にすればいいのか」

素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。

虚構の著作
見えない主観性

見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。

映画評
「マドモアゼル」
倒錯者との暗闘

トニー・リチャードソン監督
「マドモアゼル」

倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。

現代の対話
現代病 対話不能論

末川博、桑原 武夫、梅原猛 編 権澤社

現代病 対話不能論。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。

「素樸を認識主体
認識対象にすればいいのか」

素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。

虚構の著作
見えない主観性

見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著



三木清 昭和14年10月頃

映画評
「マドモアゼル」
倒錯者との暗闘

トニー・リチャードソン監督
「マドモアゼル」

倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。



三木清 昭和14年10月頃

映画評
「マドモアゼル」
倒錯者との暗闘

トニー・リチャードソン監督
「マドモアゼル」

倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。倒錯者との暗闘。これは、トニー・リチャードソン監督の映画「マドモアゼル」の映画評である。

現代の対話
現代病 対話不能論

末川博、桑原 武夫、梅原猛 編 権澤社

現代病 対話不能論。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。これは、現代の対話不能論を論じた書物である。末川博、桑原武夫、梅原猛が編纂し、権澤社から出版された。

「素樸を認識主体
認識対象にすればいいのか」

素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。素樸を認識主体として、認識対象にすればいいのか。これは、認識論上の重要な問いである。

虚構の著作
見えない主観性

見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。見えない主観性。これは、虚構の著作における主観性を論じた書物である。

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

「この眼まされる主観的思考」
「拙著」金澤隆雄「政治闘争」
「三木」無産階級主義論

加藤正論 著

御集會・御宴會
には是非！
御使用下さい

三階 60名位
四階 個室15名位

名店レストラン
らんぷりくまの店

京・タマノ交差点下町側04251

新発売

丹頂マイコム
「スペシャル」

●マイクロ乳化整髪料
●100g 300円 ●60g 200円

●ベタつかないでバラつかない ●毛の質に関係なし
●ドライヤー効果をフル発揮 ●洗髪は1回で完了
●ハンディなポリ・チューブ入り ●男らしい香り

丹頂株式会社

第1回 IBM学生懸賞論文募集

賞 1位(1名) 賞状および奨学金15万円
2位(2名) 10万円
3位(3名) 5万円
佳作(若干名) 賞状および賞品

応募資格 大学・大学院学生(在学生証明書添付)
締切日 昭和42年4月15日(当日消印有効)
入賞発表 昭和42年5月15日
表彰式 昭和42年6月初旬
送付先 東京都千代田区永田町1-14
日本アイ・ビー・エム株式会社
学生懸賞論文係 電話(580)0311

募集要綱は学部事務室または学科主任教授
にお送りしてあります

京大生の夢が
コンパ、ご宴会に、気軽に御利用下さい。
大將軍、自慢の味と値段で学生諸君のお
いそをお待ちしています。

洋食・中華料理
大將軍
ロース焼肉

成 都 駅前タワービル西 TEL(37)8090・9073
●お座敷料・サービス料は一切不要です
花明町店 西大路花園町駅前 12月開店

オトコが
えらぶ！ 決める！ ナイスタイプ整髪料

丹頂マイコム
「スペシャル」

●マイクロ乳化整髪料
●100g 300円 ●60g 200円

●ベタつかないでバラつかない ●毛の質に関係なし
●ドライヤー効果をフル発揮 ●洗髪は1回で完了
●ハンディなポリ・チューブ入り ●男らしい香り

丹頂株式会社

山

京、北区蘆花千束町 TEL(44)8022
市バス(丸の内線)御光駅前下車へ200M
全席バスプールを、山を北へ1500M

忘年会 新年会

味は日本一子算も+以下である
「きた山」を御利用下さい
きつと満足して頂きます

名物北山鍋
寿き焼きたん鍋
水たん鍋

京大生の心のふるさと
全国地方郷土料理

安価で気軽にふるさとの味をおたのしみ下さい

京大農学部裏 左・北白川/口町バス停前
TEL(79)0818

コーヒーコーナー/山里もあわせて御利用下さい
●午前11時～深夜12時まで営業

◎年末年始のご会合には暖かい一杯のミュンヘンで
ビールパーティをどうぞ お一人様 300円より

◎寒さをふっとばす好評「成吉思汗鍋」
お一人様 400円より

クラブサークルの会合には連絡事務・貸ホールも承ります
電(22)3917

ビヤホール 名物「成吉思汗鍋」
ジンダスカン

河原町四条店 電(22)3505
三条 爾樓 西詰先斗町店 電(23)1591